

令和2年度福井県計画に関する 事後評価

令和7年1月
福井県

3. 事業の実施状況

令和2年度福井県計画に規定した事業について、令和5年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【事業 NO.6 (医療分)】 在宅人工呼吸器電源確保事業	【総事業費】 7,878 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	在宅で医療をうけている患者	
事業の期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域医療構想においては、現在、病床を利用している患者層の一部を在宅医療等へ移行することを進めることとしており、在宅医療を利用する患者やその家族が安心して医療を受けられる環境を整備する必要がある。 特に在宅で人工呼吸器を使用している患者は非常時に使用できなくなるのではないかと不安を抱えているため、在宅における災害時の電源確保が必要である。	
	アウトカム指標:在宅医療の利用者数の15%増 (H28:5,200人 → R7:6,000人)	
事業の内容 (当初計画)	在宅において人工呼吸器等の電源を使用する医療機器を常時利用している患者に対し簡易自家発電装置等の購入費を支援	
アウトプット指標 (当初の目標値)	非常時の電源を確保した在宅患者数:59人	
アウトプット指標 (達成値)	非常時の電源を確保した在宅患者数:51人 ※5年度に新たに機器が必要となる人数を直近の推移から59人と想定していたものの、実際の必要数は51人であった。	
事業の有効性・効率性	観察できた 在宅医療の利用者数 R元 6,366人、R2 6,680人、R3 6,999人、R4 7,133人、 R5 7,398人	
	(1) 事業の有効性 非常時の電源を確保することで、安心して在宅医療を受けられる体制整備ができた。	

	<p>(2) 事業の効率性</p> <p>補助対象者を真に電源確保が必要な患者（人工呼吸器を24時間利用している患者）に限定し、所得区分に応じた補助率を設けたことにより、効率的に事業を行うことができた。</p>
その他	<p>(年度別基金活用実績)</p> <p>R2:5,913千円 R4:1,387千円 R5:578千円</p>

事業の区分	6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業	
事業名	【事業 No.26(医療分)】 地域医療勤務環境改善体制整備事業	【総事業費】 3,078 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	医療機関	
事業の期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	医師・看護師等の医療従事者の離職防止や医療安全の確保等を図るためには、医療勤務環境の改善が不可欠であり、個々の医療機関が抱える課題に応じて、具体的な改善策を講じる必要がある。	
	時間外労働年 960 時間超の病院数 R2:9 病院 → R5 : 0 病院	
事業の内容 (当初計画)	「勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」に基づく医師の労働時間短縮に向けた取組を支援	
アウトプット指標 (当初の目標値)	医師の労働時間短縮に向けた取組を行う医療機関数 : 1 機関	
アウトプット指標 (達成値)	医師の労働時間短縮に向けた取組を行う医療機関数 : 10 機関	
事業の有効性・効率性	病院が実施する労働時間短縮に向けた取組により、960 時間超の時間外労働をする医師を雇用している医療機関数が減少 時間外労働年 960 時間超の病院数 R2:10 病院 → R5 : 5 病院	
	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>宿直室の整備や客観的労働時間把握のための設備導入により、医療勤務環境の改善が図られている。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>福井県医療の勤務環境改善支援センターの協力により、医療勤務環境改善や医師の労働時間短縮に向けた取組を行う医療機関へ効率的に支援を実施できている。</p>	
その他	(年度別基金活用実績) R5:3,078 千円	